

Two-Rock

Topaz

(トパーズ)

Owner's Manual

取扱説明書

*Thank you for your purchase of a
Two-Rock amplifier from K & M Analog Designs*

この度は*K & M Analog Designs Two-Rock* アンプをお買い上げ頂き誠にありがとうございました。

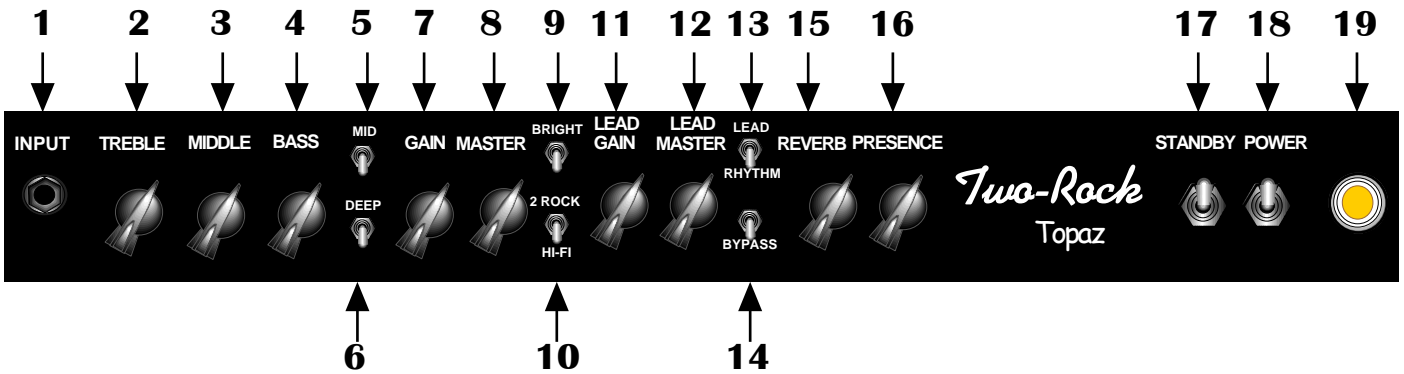
素晴らしいギターサウンドの探究はギターのみならずアンプなど、優れた機材の組み合わせから始まります。

私共の古典的な設計と厳選したパーツ類、それと丁寧なハンドメイドなどの積み重ねにより素晴らしく多才なギターアンプをつくり出しています。

御使用前にこの取扱い説明書を御一読いただくことにより疑問点や不具合等の解決になるかと存じます。

私達はあなたを*Two-Rock* アンプをお選びいただいたミュージシャングループのメンバーとして歓迎させていただきます。

FRONT PANEL FUNCTIONS

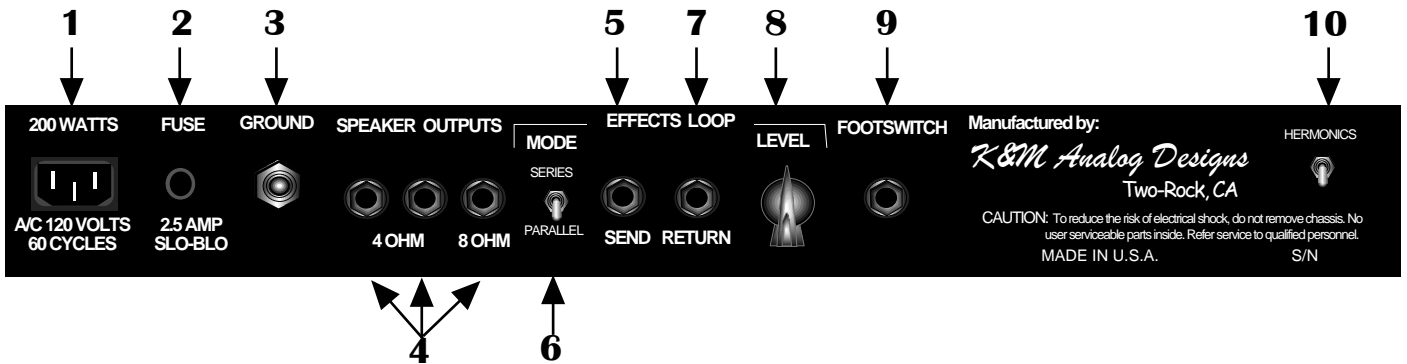


1. **INPUT**- ハイインピーダンス のインプットで、楽器をここに接続します。
2. **TREBLE CONTROL**- トレブルコントロールは高域を調整します。反時計方向いっぱいに戻すと高域は全くキャンセルされ時計方向いっぱいに戻すことで高域はそのまま次の回路（リズムチャンネル）へ送られます。
3. **MIDDLE CONTROL**- 中域を調整します。反時計方向いっぱいに戻すと音は中域がえぐられたような感じになり高域と低域が強調されます。時計方向いっぱいに戻すことで中域はそのまま次の回路（リズムチャンネル）へ送られます。
4. **BASS CONTROL**- 低域を調整します。反時計方向いっぱいに戻すと低域はカットされ更にトレブルとミドルのコントロールの効きが極端に減少します。時計方向いっぱいに戻すことで低域はそのまま次の回路へ送られます。
5. **MID SWITCH**- 中域をブーストします。
6. **DEEP SWITCH**- 中域と中低域をブーストします。これは低域に輪郭をもたせるスイッチで中域と中低域の効きが変わります。
7. **INPUT GAIN**- このアンプのトータルのゲインを調整します。調整は12時付近から始めて下さい。ここで設定したゲインの量はリードチャンネルにそのまま送られることを忘れないで下さい。ここで低い設定をするとリードチャンネルで同じオーバードライブを得るにはリードゲインがより以上に必要となります。
8. **CLEAN CHANNEL MASTER VOLUME**- クリーンチャンネルの音量を調整します。
9. **BRIGHT SWITCH**- 高域をブーストします。これはクリーンチャンネルのゲインが12時かそれ以下の時もっとも効果が現れます。逆に12時付近を過ぎますと効果は薄れます。
10. **EQ SWITCH**- このスイッチにより2種類の全く異なる音質設定が得られます。Hi-Fi は低いゲインの設定でDeepスイッチの様に、ミドルとベースコントロールが連結して使われる時、中域と低域が拡張されます。この設定は音やせのない程よく丸みのある低音が効いたピュアなクリーントーンが必要な時に最適です。2rock は高めのゲイン設定となっておりより大きなレベルでリードチャンネルに信号を送ることができます。この設定はクリーンチャンネルでクリーンから若干歪んだ音を、またリードチャンネルでより以上にゲインが必要とする時に最適です。
11. **LEAD GAIN**- リードチャンネルのゲインを調整します。低い設定では少しのオーバードライブが得られ時計方向に戻すとオーバードライブの効果が増大します。

12. **LEAD MASTER**- リードチャンネルの音量を調整します。
13. **LEAD CHANNEL SWITCH**- 信号をリードチャンネルに送るスイッチでこれによりリードゲインとリードマスターが有効になります。この機能はフットスイッチでもオン/オフ可能でスイッチがオフ（下向き）のときフットスイッチが有効となります。
14. **BYPASS SWITCH**- このスイッチはトーンコントロールを迂回し両方のチャンネルで中域をブースとします。この機能はフットスイッチでもオン/オフ可能でスイッチがオフ（下向き）のときフットスイッチが有効となります。
15. **REVERB**- 原音と高品質なスプリングタイプのリバーブ（残響）音をミックスさせます。反時計方向いっぱい回す事でリバーブ音を消すことができます。
16. **PRESENCE CONTROL**- 高域に輪郭を加えます。時計方向に回すことにより効果が大きくなります。
17. **STAND-BY SWITCH**- 電源を投入する時には必ず下方向の位置にして下さい。電源投入後数秒してから上向きにして下さい。またギター交換やアンプから離れる際に音をミュートさせるときにも下向きにして下さい。
18. **POWER SWITCH**- 電源投入のスイッチです。
19. **INDICATOR LAMP**- このランプはPower SwitchがONのとき点灯し電源が投入されていることを示します。

注意: 全てのスイッチは上向きでONであることを示しています。

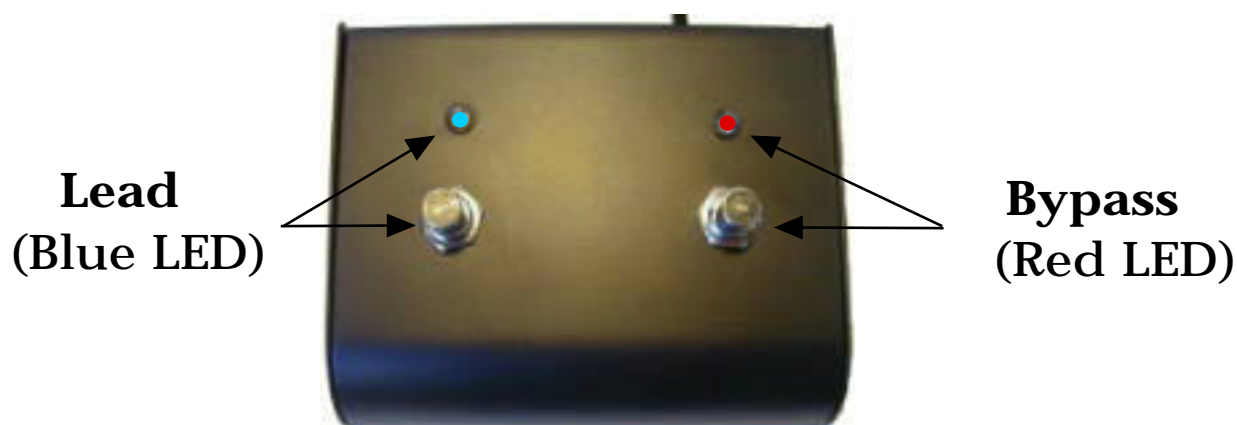
REAR PANEL FUNCTIONS



1. **A/C INPUT**-付属の電源コードで外部電源と接続します。特別な表示がない限り120Vを使用して下さい。日本国内で御使用の際は必ず昇圧器で100Vを117～120Vに電圧を上げて御使用下さい。
2. **FUSE**- スローブロータイプのヒューズです。万が一の為にスペアを用意しておくことをお勧めします。(50Wは2.5アンペア、100Wは3.5アンペア) 販売店にお問い合わせ下さい。
3. **GROUND SWITCH**- 通常はセンターポジションで御使用下さい。もし、ハムノイズやグラウンドループによるノイズが発生しているようでしたら左右にスイッチを傾けノイズの少ない位置を試して下さい。
4. **SPEAKER OUTPUT JACKS**- 8 か4 のインピーダンスのスピーカーシステムを御使用下さい。また接続の際、正しいインピーダンスに接続するよう確認して下さい。
5. **EFFECTS SEND**- 外部エフェクトにアンプの音声信号を送ります。
6. **SERIES/PARALLEL SWITCH**- 外部エフェクト用のループ(送りと戻り)はこのスイッチによりシリーズ(直列)とパラレル(並列)の切り替えが可能です。シリーズはエフェクター接続の際、Effect Sendからのみの信号でエフェクターから信号が戻ってこない限り音はでません。またパラレルでは外部エフェクトをつないでも常に原音は鳴っています。
使用方法はアンプの原音にエフェクト音を付加するような、ディレイやリバーブなどの時はパラレルで、原音を加工するような外部イコライザーやリミッターなどを使用する時はシリーズモードを使用します。
7. **EFFECTS RETURN**- 外部エフェクターからの返りの信号をここに接続します。
8. **EFFECTS LEVEL**- 外部エフェクターからの返りのレベルをコントロールします。
6.のSERIES/PARALLEL SWITCHがシリーズモードの際はこのEffects Levelがアンプ全体のマスターボリュームとして機能しますので反時計方向いっぱいになりますと音は出なくなります。通常は12時くらいで御使用下さい。また6.のSERIES/PARALLEL SWITCHがパラレルのときはマスターボリュームとはならず常に一定の大きさと原音が出力されます。その大きさはシリーズのときの12時～2時くらいの時と同等です。
パラレルモードの時、このEffects Levelは内臓リバーブにも働いていますので、反時計方向いっぱいになりますと原音はでますがリバーブ音はいくらフロントパネルのリバーブを大きくしても出なくなります。
9. **FOOTSWITCH JACK**- 付属のフットスイッチをここに接続します。このフットスイッチでリード/リズム(クリーン)の各チャンネルの切り替えとBypassのON/Offの切り替えが可能となります。
10. **HERMONICS** - このスイッチはプリアンプセクションにあるフィードバック回路を無効にするもので、この効果は非常に識別しにくいですが注意して聞くと高域と低域が増し、音の奥行きと明瞭さが減少することに気が付かれると思います。

注意: フロントパネルの"LEAD"と"BYPASS"のスイッチは下向きでないとフットスイッチは機能しません。

FOOT SWITCH (フットスイッチ)



真空管の種類とその位置

- V1- 12AX7, Rhythm channel
- V2- 12AX7, Lead channel
- V3- 5751/12AT7, Reverb driver
- V4- 12AX7, Reverb / effects
- V5- 12AX7, Phase inverter
- V6, V7- 7581, Output
- V8, V9- 7581, Output (100 Watt only)

上記真空管の番号はアンプ本体の後側から見て向かって右側からの番号となっております。

各真空管は私共の独自の仕様とテストに適合したものを使用しています。

それぞれの出力管は位相調整や個々のバイアス調整を行います。

これによって最大限の寿命とパワーそして能力を発揮します。

注意: 出力管の位相調整やバイアス調整は御自分では試さないで下さい。販売店や専門技術者に御相談しお任せ下さい。

*K & M Analog Designs*のギターアンプは *Bill Krinard* (ビル クリナード)と*Joe Mloganoski* (ジョー ムロガノスキー)が皆様にお届けしております。この*Two-Rock* アンプは未永くお楽しみいただけまた皆様にあたらしいインスピレーションをお届けできると確信しております。

この取扱説明書は皆様の疑問に対する一助となりますが、その他の御質問、御意見、御要望などお待ちしております。

MAILING ADDRESS: 有限会社 日乃出エンジニアリング
〒134-0085 東京都江戸川区南葛西3-22-11-1101
PHONE & FAX: 03-3686-4125

E-MAIL: 長澤 光顕 (ながさわ みつあき)
Mitch@Two-Rock-Jp.com

INTERNET: www.two-rock-jp.com

使用上の注意：

雨や多量の湿気は避けて下さい。
外装の汚れには洗剤等は使わず乾いたきれいな布で拭き取って下さい。
本機に関するサービスはお買い上げの販売店もしくは資格のある技術者にお問い合わせ下さい。

This is a product of

K & M Analog Designs

7880 Old Redwood Highway

Cotati, CA 94931 USA

www.two-rock.com

(輸入元)

有限会社 日乃出エンジニアリング

〒134-0085 東京都江戸川区南葛西3-22-11-1101

PHONE & FAX: 03-3686-4125

Mitch@Two-Rock-Jp.com

www.two-rock-jp.com

Serial Number: _____